

繋げよう! 安心、安全、信頼の輪

Z E N S H O K Y O

全商協

全国遊技機商業協同組合連合会広報誌

11 NOVEMBER
2011
VOL.8



特集■全商協・新体制の活動報告
特別インタビュー■里見 治 日電協理事長

「全商協スローガン」決定!

今年1月、「全商協スローガン」を各地区遊商より募集しましたが、選考の結果、藤目悠也様(四国遊商・株式会社日野商事)が作成した「**繋げよう!安心、安全、信頼の輪**」に決定しました。

このスローガンは、全商協が中古機流通を適正に推進していく際の活動目標として、今後広報誌をはじめ、各種事業、行事等において活用させて頂く予定です。藤目様には、全商協より記念品が進呈されました。ほかにも多くのご応募をいただき、ありがとうございました。



桜と言えば日本の春を代表する花だが
秋の紅葉もこの美しさ。
ところが、桜の葉は落ちるのが早いようで
見ごろの期間が短いという。
花と同様だ。
桜はあくまでも潔くもはかないらしい

1	特別インタビュー 里見 治 日電協理事長
4	特集 全商協・新体制の活動報告
	テレビ会議の導入による迅速な“情報の共有化”を!
	取扱主任者の実技講習会を全国の地区遊商へ
	組織力を生かした環境活動を
9	理事会報告
10	特別レポート 中古機市場の動向について
11	RECYCLE考 宵越しの金を持たない江戸っ子は節約とリサイクルに知恵を絞った
12	Mail Box 四国遊商、創立50周年記念式典及び記念パーティーを開催
14	達つあんの辛口コラム
15	役員さん登場! 和久田守彦 理事長
18	地区遊商だより Vol.4
20	エコ標語・エコドライブ10のすすめ
21	業界NEWS・編集後記

特別
インタビュー

里見 治

日本電動式遊技機
工業協同組合

理事長

——早速ですが、昨年以降パチスロが力強い回復を見せています。その要因はどこにあったと見ていますか？

里見 要因はふたつあったと思います。ひとつは5号機に移行してからパチスロを遊び始めたファン、いわゆる5号機世代と呼ばれるファンが増えたこと。もうひとつは各メーカーが研究を重ねてきた結果、5号機のスペックでも完成度の高い機械をリリースできたことが挙げられると思います。このふたつが相まってパチスロ人気を盛り返せたのだと感じています。

——ただ業界全体としてはパチンコの不振をパチスロで補えない状況が見受けられます。

里見 パチスロに限らずパチンコでも、もう少し射幸性ではなく遊技性の部分で多彩な表現が可能になれば、よりファンに喜んでもらえる機械を開発できると思います。例えば現状パチンコ第2種タイプの市場投入が難しい状況にあります。

パチスロ市場が回復傾向を見せている。

今年は3月11日に発生した東日本大震災が

さまざまな影響を及ぼした。

そんな中でパチスロ業界の陣頭に立ち、

活性化の流れをつくった日電協の里見治理事長。

マーケットの現状や被災地支援の取り組み状況などについて話を伺った。

すが、こういう状況を打開する意味でも遊技性の部分でもう少し弾力的な運用が必要になるのかなど、それがわたしの率直な考えです。

——遊技機の表現力の向上には射幸性にかかわりのない部分での行政当局の理解が必要になるというご認識ですか？

里見 はい。すでに解釈基準の変更に対する要請は行政当局にしています。いずれは規則改正もあるでしょうし、その時に日電協として具体的な案を行政当局に示せるよう準備は進めています。私としては、どこまでも遊技性の幅を広げたいとの思いから行政当局にアプローチしています。

——ところで、東日本大震災後に一時的にメーカーの部品調達に不透明感が漂いました。

里見 現状ではほぼ支障なく調達できるまでにサプライチェーンは回復しました。震災発生後、たしかに2か月間ぐらいは不透明な状況が続き、部品単価の上昇も懸念されましたが、それも杞憂に終わったのは本当に幸いなことでした。

——業界のリーダーとしてルネサス社など大手半導体メーカーに里見会長が掛け合ったという話も仄

聞しております。

里見 そういうこともありましたが、関係各位のご理解には感謝しています。

——では次に東日本大震災をめぐる日電協の支援活動について話を移したいと思います。

里見 わたし自身は8月5日と6日に宮城県石巻市で回胴遊商と共催した「パチボー・スロタンの夏祭り」を視察しました。UFOキヤッチャーや輪投げ、ステージでのウルトラマンショーなどを開催したところ、多くの子どもたちに喜んでもらえました。やはり被災地に実際に足を踏み入れなければ被災者の方々の気持ちはわかりません。

——他にもさまざまな取り組みを実施されたと伺っています。

里見 シャワーコンテナをもって複数の被災地をまわりました。6月から2週間ぐらしかけて移動するというものです。できる限り多くの被災者の方々に利用してもらえよう被災各地をめぐるしましたが、このシャワーコンテナは、たいへんに好評だったと聞いています。また、炊き出しも2回実施しました。2回目は炊き出しだけで

はなく、子どもたちのためにも夏祭りのないイベントを開催しましたが、それが「パチボー・スロタンの夏祭り」です。その他、ご要望

もあって放射能を測る線量計を福島県と群馬県に寄贈したほか、宮城県と岩手県には、それぞれ7つの自治体にワゴン車を計14台寄贈しています。

——義援金など資金面のみならず、直接的な支援に力を注いでこれれた印象があります。

里見 赤十字などの団体を通じて義援金を被災地に届けることも大切なことです。しかし私たちとしては直接的に被災者の方々に喜んでもらえる支援活動を実行しようと考えました。

——今後も継続的に支援を実施される予定ですか？

里見 もちろんです。被災者支援は今年だけで終わるわけではありません。日電協では予算を組んで継続的な支援活動に取り組んでいきます。そして、その支援は、あくまで被災者の方に喜んでもらえるもの、役立てていただけるものを直接的に実行するものにしたいと思いますし、その方針が変わりません。

——これら支援活動の多くは同じパチスロ関連団体の回胴遊商と共同で取り組まれているのも大きな特徴といえますが、その他の団体

業界には 身近な大衆娯楽として 大きな社会的役割がある

さとみ はじめ
昭和17年1月16日生まれ。群馬県出身。青山学院大学法学部中退。セガサミーホールディングス(株)代表取締役会長兼社長。昭和50年11月サミー工業(株)(現・サミー)設立。昭和55年3月代表取締役社長に就任。日本電動式遊技機工業協同組合では副理事長を経て、平成19年5月理事長に就任。

との連携についてはいかがですか？

里見 回胴遊商から一緒に支援活動を行いたいとの要望もあつて共同で被災地支援を行ってきましたが、他団体とも協調して支援活動が行えれば喜ばしいことです。ただし、それには価値観を共有できなければなりません。同じ価値観をもたなければ何かを企画しても話はまとまらずズルズルと時間だけが過ぎるようでは意味がないからです。回胴遊商とは同じ価値観を共有できたからこそ今回の共同支援が実現しました。

——今年は震災の影響で「パチスロの日」の開催を見送りましたが…。

里見 積極的な中止だったと捉えています。なぜなら単に震災を考慮した中止ではなく、その費用をセーブすることなく被災者支援へ有効に使うことができたからです。もちろん、来年以降は「パチスロの日」を再開していきたい、さらにパチスロを盛り上げていきたいと考えています。

——震災後は石原都知事の発言に代表されるパチンコバッシングもありましたね。

里見 被災後は石原都知事の発言に代表されるパチンコバッシングもありましたね。



里見 石原都知事の発言はいずれにせよ大震災という非常時に際して業界全体の対応のあり方をめぐって危機感を喚起しました。確かに発言内容は事実と異なりました。

しかしこれを奇貨として業界全体が身を引き締めたのも事実です。国民が抱く業界に対するネガティブな印象はやはり根強いものがある。そのことに謙虚に向き合う必要がありますし、その認識に立つて行動を起こす必要があります。

今回、輪番店休も含めて節電対策などが徹底されたことは、その意味でも非常に大きな意義があったと認識しています。

一方、被災地以外のホールで予想以上に集客や売り上げが好調だ

ったと聞いています。未曾有の大震災が発生、不安がある中でも、パチンコホールがストレス解消やコミュニケーションの場として地域コミュニティの機能を果たしていたことの証明だったと思います。業界はややもするとマイナス面ばかりが強調されがちですが、やはり業界には身近な大衆娯楽として大きな社会的役割があるとあらためて実感したところです。

——パチンコホールが地域のコミュニティとしての底力を発揮した…。

里見 ええ。必ずしも非難ばかりされる業界ではない、だからこそ自分たちのビジネスに誇りをもてることも感じました。

——さて再び回復するパチスロに話を戻したいと思いますが、パチスロの人氣が高まるとゴト行為など不正行為の横行が懸念されますね。

里見 遊技機の不正防止ではイタチゴッコが続いています。私たちメーカーとしても事前に起こり得る不正を想定して開発をしてはいますが、現実的には100%防げないのも事実です。ただし、不正行為自体が難しくなっている点については前進していると捉えています。

——最後になりますが、全商協の組合員は販売業者です。そのため流通段階での不正防止を行政当局から要求されています。それにはメーカーと販売業者の連携も重要ですが、この辺についてご意見がありましたらお聞かせいただきたいと思っています。

里見 今後も日工組、日電協、全商協、回胴遊商という遊技機の製造業者と販売業者からなる4団体が一致結束して、不正対策など諸問題に対応していくことは重要だと考えています。そのために緊密な関係を構築するための努力をこれからも続けていきます。

新体制の活動報告

「実務が大事、現場が最優先される時代です」と就任時に語った中村会長のもと、新生・全商協の体制がスタートしてから、半年あまりが経過しました。就任前から実現を切望していた

全国8単組を結ぶ「テレビ会議システム」の導入、取扱主任者・実技研修の全単組での実施、そして、連合会として団結し、共通認識を持つことです。

それは、中村会長が自ら選んだ「全商協スローガン」のことばにも表れています。「繫げよう！安心、安全、信頼の輪」

全商協・新体制の半年間の活動報告を特集しました。

1 テレビ会議の導入による迅速な「情報の共有化」を！

全商協では、遊技業界団体としては初めての試みとしてテレビ会議システムを導入、全国8か所の各地区遊商と全商協事務局（東京・八重洲）を結ぶテレビ会議システムのネットワークを構築、「全商協第2回事業・広報委員会（9月30日開催）から、その運用をスタートした。

ます。みなさん、こんにちは」とカメラに向かって言うと、9分割されたテレビ画面の中から各委員全員が挨拶を返した。

そして冒頭、全商協・中村会長より「本日ここに、全商協のテレビ会議システムの開局を宣言いたします。事業・広報委員会のみならず、さまに尽力いただきましたおかげで、本日、ここに全商協9拠点によるテレビ会議システムを導入することができました。今後、全国の単組が一つとなって、さらに情報の共有と連携を強め、スピーディーな運営に貢献して頂くことを切にお願いしまして、私からのご挨拶とさせていただきます」と、東

遊商のテレビ画面から、全国の各地区遊商に向けて、記念すべきテレビ会議システムの開局宣言が行われた。

この「遊技業界団体で初の試みとなったテレビ会議システム導入」に漕ぎ着けるまでの経緯は、中村会長が、就任してすぐに「全国8地区遊商を結ぶ本格的なテレビ会議の導入について調査・研究するよう、事業・広報委員会に諮問」して始

まった。

この日の同委員会は、各委員が、地区遊商の事務局に設置された大型テレビの前に座って参加した。東京の全商協事務局から蓼科事業・広報委員長が、「それでは、第2回事業・広報委員会を開催し

また、全商協では、日本全国から理事や委員が東京の事務所に集まって会議を行っている。たとえば広島



「テレビ会議システムは8地区遊商が連合体として共通認識を持つためには欠かせないツール」と導入を決意した中村会長



事業・広報委員会のテレビ会議



テレビ会議用カメラと端末機材



中村会長によるテレビ会議システムの開局宣言

から東京まで新幹線を利用して来ると、その移動時間は、片道4時間、日帰りならば、さらに4時間、往復約8時間もかかってしまう。

「テレビ会議」を導入すれば、そういった遠距離からの会議出席者の負担を軽減するだけではなく、会議のレスポンスの速さ、地域のオブザーバーの参加、経費の削減等が期待できる。東遊商はじめ、中部遊商、東北遊商の組合では、5年ほど前にすでにテレビ会議を導入しており、事務局間で打ち合わせに利用、今回の東日本大震災の際には被災地の情報収集にも活用されていた。

7月6日、蓼科委員長は、早速事業・広報委員会を開催し、複数のOA会社を招き、テレビ会議やパソコンを使ったWEB会議の実演も行った。

その結果、現在は端末機材等の開発が進み、大型テレビも手ごろな価格となり、5年前より高画質・高音質のテレビ会議が行えることが分かった。事業・広報委員全員の賛成を得て、テレビ会議の導入を7月26日開催の全商協理事会上程し、その後、費用の検討を行

い、全会一致でテレビ会議導入が決定されたのだ。

「10分割の画面」好評

今回導入された「テレビ会議システム」の機器端末は米国のネットワーク機器専門会社「POLYCOM社」製のもので、全商協に専用サーバーを設置し、北海道・東北・東日本・中部・関西・中国・四国・九州と全商協の各事務局（計9）が、光回線を使って結ばれている。パソコンのデータをテレビ画面に投影したり、出席メンバー数に応じた画面の分割方法なども可能だ。

画面構成は、用途に合わせて、2分割から10分割まで多彩なレイアウトで表示され、臨場感あるテレビ会議を行うことができる。

テレビ会議の導入にあたり、通信を行うための回線関係、画像を映すモニターとなる大型テレビやシステムを運用する端末装置などの機器関係が必要だ。全商協と各地区遊商では、8月、9月と急ピッチでその準備を行い、9月30日、各地のインフラが整えられて、「テレビ会議システムによる委員会開催」に漕ぎ着けた。

今後のテレビ会議の運用方法については、リモコン、マイク、カメラ等の具体的な操作について、全商協事務局をはじめ、各地区遊商事務局の担当者も含めて工夫と研究を重ね、より効率的な運用を図ることができるよう協力体制も必要だ。蓼科委員長は、「発言者の声が重ならないようにするなど、運用ルールを決めて、臨場感がある会議になるよう工夫したい。また、会議だけでなく、取扱主任者の実技講習会の中継や会長の年頭挨拶など、活用範囲も事業・広報委員会で協議したい」と今後の活用にも取り組む意向だ。

その後、10月3日に機械対策委員会、翌4日にセキュリティ委員会もテレビ会議によって開催された。そこで好評を得た「10分割の画面レイアウト」を今後は採用、座長と発言者が常に中央に登場し、その周囲を残りの単組が囲むもの。今後は、必要な時に各地区遊商事務局に集まり、各地区の委員会等による組合員相互の交流をはかるなど、組合活動の多様化にも大きく貢献できるものと、このシステムの活用の拡がりにも期待がふくらむ。

テレビ会議について

中村会長の話

「いよいよテレビ会議が開局しました。わざわざ東京まで来ていただけでなく、大勢の方々に会議に参加してもらい、「現場の声」を届けていただく事ができます。そして、その声に、なるべく早く対応できるような体制を整えていきます。全商協からの情報、全国の組合員(所属員)の皆様、よりスピーディーに伝わることにより、可視化された正確なものを共有し、レスポンスも高められ、8単組が一体となって活動できることを願っています。今、遊技業界は、大きな変革期を迎えようとしているが、まさに全組合員が一致団結し、協力して乗り越えていくべきときです。テレビ会議の導入はあくまでその方法の一つであり、共通認識を持つ環境を整える手段です。全国の8単組の組合員がお互いに理解しあい、結束を深めて、組織を強化していきましょう」

事業・広報委員会 蓼科委員長の話

「今回のテレビ会議導入に当たっては、責任のある当委員会として準備不足は否めないスタートで、会長はじめ関係者に大変ご迷惑をおかけしたことを、まずもってお詫び申し上げます。全国の8地区遊商が揃ってテレビ会議に参加した初めての、意義深い会議システムの始動との認識を持っており、幸いにして初会合での失敗、問題点等が改善されて、2回目(機械対策委)、3回目(セキュリティ委)と会議を重ねるごとにスムーズな運営をこなせるまでにナリホツとしています。今後もこのシステムの利点を最大限に生かして活用していきたいと思っています」

機械対策委員会 増田委員長の話

「基本原則のルールを守ること、議事進行が順調な流れになり、議論、意見交換等で内容の充実した協議が可能になったと思います。当初の戸惑いもすぐに慣れて、順調な流れになってからは、発言者の話を全員がしっかり聞いている

様子がわかりました。雑談が入らないのもこのシステムの利点ですし、議論に集中できるだけに結論への対応も早くなるのではと感じました。今後のテレビ会議のあり方については、委員会ではなく「意見交換会」を開いて、委員各位が腹を割って話せる場で雑談しよう、という意見も出ていますので、検討したいと思います」

セキュリティ委員会 山本委員長の話

「これまでは委員会を開くための日程調整に苦労していましたが、テレビ会議では都合が付きやすいために回数も増えると思います。特に現場からの情報に迅速な対応が可能になったことは、大きな利点だと思っています。また、委員以外の多くのオブザーバーが参加できるのも、情報の共有というメリットを生むわけで、将来への楽しみが増えることにもなります。また、このシステムのより効果を上げる工夫を考えていますが、次回には発言者が手持ちのボードを画面に出して説明する、テレビ放送でやっているスタイルにトライしてみたいと考えています」

セキュリティ委員会のテレビ会議



テレビ会議を見る事務局員ら



機械対策委員会のテレビ会議



2 取扱主任者の実技講習会を 全国の地区遊商へ

7月22日に開催された全商協のセキュリティ委員会（山本龍彦委員長）では、各組合で行われている取扱主任者に対する講習会等の内容報告が行われた。

その中で、各委員が注目したのが、東遊商、中部遊商、関西遊商で実施している点検確認の実技チェックを行う講習会だった。

たとえば東遊商では、昨年組合に所属する約1300人の取扱主任者を対象に、1日5〜6回各10人、合計1日約60人の割合で講習

会を行い、その中で1人1台遊技機を使用し、専属の担当者が立会い、点検確認実技チェックを実施した。

委員会が終了すると、セキュリティ委員は、早速上野にある東遊商の組合事務所へ講習会の具体的な内容を聞くために向かった。

東遊商の増田専務理事が、訪問したセキュリティ委員に、実際の講習会で使用する資料などを配布し、実機を使用した講習会の手順を説明した。

説明を受けた山本セキュリティ委員会委員長は、「各地区遊商でもこのような、実際の遊技機を使って実技を確認する講習会が開催できるか、今後検討したい」と前向きな意見を述べた。

8月4日改めて、中国遊商の松原理事長や役員など7名が、実技を使用した講習会を見学するため、東遊商を訪問した。

講習会は、午後1時半より開始され、東遊商の組合員に所属する8名の取扱主任者がひとりずつ席に着いた。

講師の増田専務理事が、中古機流通制度の概要と27項目の点検確認ポイントについて実際の遊技機

を使い2時間ほど説明した。その後、点検確認実技チェックが開始された。取扱主任者は3人ずつ立ち上がり、会場後方に3台設置してある遊技機にひとりずつ向かった。そこへ東遊商の事務局に所属している担当者3名がそれぞれ立ち合った。

取扱主任者は、事務局の担当者をホール管理者に見立てて立会の依頼を行い、まず、身分証明書を提示して、自分の氏名を名乗り、点検確認を行う27項目が書かれた書面の項目を1か所ずつ声に出して読み上げ、テーブルの上に立てて固定してあるパチンコ遊技機の点検確認を始めた。

担当者も同じ書面を持ち、一項目ずつその作業が適切かどうか「○



東遊商を訪問し、増田専務から講習会の手順を聞くセキュリティ委員たち



東遊商での講習会の様子



担当者に点検確認実技チェックを受ける取扱主任者



見学に訪れた中国遊商の役員

△×」を表に記入していく。途中で担当者からは、「必要ときはペンライトを使って目視の精度を高めて確認して下さい」といった具体的な指導もはいる。遊技機には、電源が入れているので、スピーカーの作動確認など、ホールに設置時の点検項目も確認することができる。27項目全ての点検確認を行い、確認証紙を貼る作業をし、最後に遊技機等点検確認受渡書、保管・納品確認書の授受を行い、実技チェックは終了となった。

その間、次の順番を待つ取扱主任者たちは、○×式の実務内容を問うペーパー試験を受けていた。

全員の点検確認実技チェックとペーパー試験が終わると、増田講師による答え合わせを行い、間違っていた箇所などを補足説明した。

その後、QRのハンデイスキャナの使い方等を説明し、午後5時を過ぎて講習会は終了した。その日は、出席した取扱主任者全員の点検確認実務におけるスキルを確認することができた。

見学を終えた松原理事長は、「改めて中古機流通における取扱主任者の責任の重さを再確認しました。中国遊商でも今後の研修の参考と

したい」と感想を語った。

10月4日に開催された第2回セキユリティー委員会では、実技講習をすでに実施している東遊商、中部遊商、関西遊商を参考に、ほかの地区遊商でもその内容や実施時期を検討していると報告された。増田講師（東遊商・専務理事／全商協・理事・機械対策委員長）は

3 組織力を生かした環境活動を

7月26日、全商協会議室において、資源エネルギー庁・節電サポート事務局の担当者を招き、小口需要家に対する節電説明会を開催した。

説明会では、オフィスにおける節電行動計画の作り方や具体的な節電方法等が紹介された。オフィ

「健全な中古機流通を維持・発展させるため、取扱主任者の点検確認実務の技術面でのレベルアップを図っていくことを目的としています。遊技機を扱うプロとしての自覚を持ち、保証書に対する内外の信頼に応えるため、責任を持って点検確認作業をしてもらいたいと思います」と話した。

力を見直すことが重要であると解説された。また、節電宣言ステッカーが配布され、全商協事務所内に掲示した。

今期からリサイクル・環境対策委員会の委員長に就任した中国遊商の金澤知平委員長に今後の抱負を聞いた。

「初めての女性委員長と言われ、ちょっと緊張しています。担当役員の安藤理事長や和久田理事長、また安藤享副委員長にいろいろお知恵をお借りして委員会を運営していきたいと思っています。環境に関する問題は、各地区遊商でもいろいろと積極的に取り組んでお

りますが、全商協という組織力を生かした活動を行っていただければと思っています。たとえば、全地区遊商で統一したテーマで取り組むといったようなことです。その中で各自がステークホルダー（当事者）として主体的に役割を果たせるように具体的な行動を示していきたいと思っています。今後の活動は、委員の方々と良く協議して決めていく予定ですが、全国の組合員の皆様もご協力をお願いします」。

なお、環境省では、2005年度から冬の地球温暖化対策の一つとして、暖房時の室温20℃設定で心地よく過ごすことのできるライフスタイル「ウォームビズ」(WARM Biz)を推進している。今回の東日本大震災を受けての節電の必要性はもちろんのことだが、エネルギー全般の使い方を見直し、一人ひとりが低炭素社会の構築に向けたビジネス及びライフスタイルに変えていくことを目指すのが狙いだ。CO2削減に繋がる取り組みを、先ず個人から始めて組織力を生かして結集すれば、大きな効果に結びつくはずだ。地域での環境イベントにも積極的な参加を呼びかけている。

節電に関する説明を行う資源エネルギー庁担当者



第4回理事会

開催日 平成23年7月26日(火)

開催場所・出席人数

全商協会議室・出席理事数21名

議題と審議結果・主な報告内容

・第1回セキュリティ委員会について(7月22日開催)

・副委員長に、河合敏夫委員(中部)

を選出した。

・PSIO専用パソコンの買い替えに関する団体負担金について上程され、承認された。

・第2回リサイクル・環境対策委員会について(7月14日開催)

・副委員長に、安藤享委員(東日本)

を選出したことなどが報告された。

・第1回事業・広報委員会について(7月6日開催)

・副委員長に、笠松義清委員(関西)

を選出した。

・第73回中古機流通協議会の報告について(6月24日開催)

・中古ばちんこ機の型式の保全措置について、現在のビニール袋による梱包を維持しながらも、ほかに有効な方法があれば検討していることなどが報告された。

・第2回機械対策委員会について(7月25日開催)

・副委員長に、福地健次委員(東北)、林和宏委員(中部)の2名を選出した。

・東日本遊商の杉田浩樹理事を委員として1名追加することが上程され、承認された。

・「常勤役員の報酬等に関する規程(案)」について

・常勤役員の報酬等に関する規程案が上程され、承認された。

第5回理事会

開催日 平成23年8月30日(火)

開催場所・出席人数

全商協会議室・出席理事数21名

議題と審議結果・主な報告内容

・テレビ会議端末保守サービス内容並びに料金について

・テレビ会議システム導入の進捗状況について

・テレビ会議端末保守サービスについて提案があったが、初年度は保証期間内なので加入せず、次年度については、事業・広報委員会で状況をみて検討することとした。

・テレビ会議システムの進捗状況は、9月半ばまでに各機器の設定等を終了し、その後仮の環境を作り接続テストを行い、10月1日より本格的に使用できる予定であると報告された。

・回廊遊商との連絡会議の報告(8月29日開催)

・9月12日に開催される中古機流通作業部会の事前打ち合わせを行った

と報告された。

第6回理事会

開催日 平成23年10月11日(火)

開催場所・出席人数

全商協会議室・出席理事数21名

議題と審議結果・主な報告内容

・平成23年度第3回中古機流通作業部会並びに第74回中古機流通協議会の報告について(9月12日・9月29日開催)

・新しい中古機流通制度が開始されて1年余り経過したが、全商協、回廊遊商から厳格に運用されていると報告された。今後も各団体において、「責任の明確化」について施策・方策を研究していく方針。

・回廊式遊技機の一体型筐体の保証書に表示されている本体製造番号の記載方法の統一について関係団体で協議を行う予定であることなどが報告された。

・第2回事業・広報委員会の報告について(9月30日)TV会議システムで開催

・本委員会は、かねてより準備していたテレビ会議システムにより開催された。

・各委員・事務局員で協議し、テレビ会議システムのルール作りを行った。今後も回数を重ね、より使いやすいうように調整していく予定。

・広報誌について、次号は11月に発行予定であることなどが報告された。

・第3回機械対策委員会の報告について(10月3日)TV会議システムで開催

・中古書類を作成する本人確認の方法について、QR顔認証システムの導入又は独自の対策の開発を行うことが協議されたと報告された。本件については、各組合で早急に対策を協議し、8単組で相当な期間内に実施することとして、次回の理事会でその内容を報告することとなった。

・中古書類のホルの外れ先を3か所以上に増やしてほしいとの要望について、今後関係団体で協議する予定であると報告された。全商協では協議の前に、まず各事務局において実務レベルで検証することとした。

・第2回セキュリティ委員会の報告について(10月4日)TV会議システムで開催

・各地区遊商より、実技講習の実施状況、運送会社の倉庫調査、ペーパーテストについて報告された。

・日遊協のセキュリティ対策委員会で協議されているICタグに関する要望案について協議した。

・次回のセキュリティ委員会では、不正防止の重要性を啓蒙するためのオーナー研修会の実施について、協議することとなった。

中古機市場の
動向についてパチンコ新台とリンクする
中古機市場の販売状況

全商協が発給する確認証紙（中古用）は平成21年度の約183万枚から翌年度は約137万枚まで減少。

今年度も9月までに約62万枚となり前年度を下回ると予想されます。

中古機の流通量が減少した背景にはいくつかの要因がありますが、ここでは中古パチンコ機の流通量に影響を与えるパチンコ新台の販売状況を見てみます。

今年度上半期の確認証紙発給枚数は62万2794枚です。確認証紙は平成21年度の約183万枚から平成22年度は約137万枚まで減少しますが、このままのペースで推移すると昨年度を下回ると予想されます。

確認証紙の発給枚数は減少傾向にあります。中古機の流通量は新台の販売台数に影響されます。そこで、パチンコ新台の販売状況を見ますと、ある調査では、平成21年度の約370万台から平成22年度は約303万台まで減少しています。昨年度は確認証紙の発給枚数と共にパチンコ新台も前年度を下回ったわけですが、これは国内でのAPEC開催に伴うホール

の入替自粛が全国で実施されたほか、活性化するパチスロの増台に

伴うパチンコの減台傾向が影響したと指摘されています。

パチスロ新台の販売台数は、平成19年度に約184万台を記録しましたが、5号機へ完全移行した平成20年度は約92万台、さらに平成21年度は約84万台と大幅な減少となりました。実に2年間で販売台数が半減しています。しかし、平成21年秋や平成22年春に出た人気機種が登場がパチスロ活性化への原動力となり、昨年度は約102万台と販売台数が増加に転じました。

パチスロ増台傾向は
しばらく続きそう

また、今年度も上半期で約54万台と、東日本大震災の影響があったものの前年同期の約47万台を上

回っています。これからは話題性の高い機種が市場投入されるため、ホールのパチスロ増台傾向はしばらく続くことが予想されています。

パチンコは話題機や
中古機需要に期待

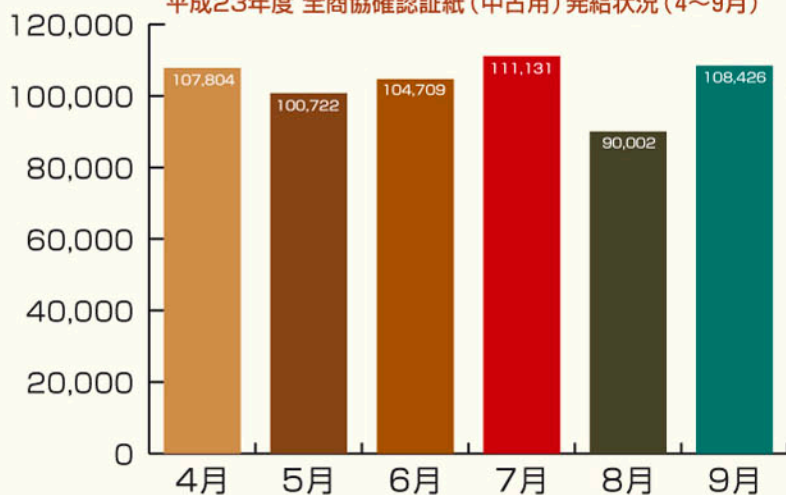
一方でパチンコは、今年度上半期の新台販売台数は約130万台です。このままのペースであれば、年間で300万台を割り込む可能性があります。第1四半期の販売台数は約58万台、第2四半期は約72万台です。共に前年同期比で16万台減となりましたが、特に第1四半期は東日本大震災の影響もあり、過去5年間で最も販売台数が少ない期間となりました。

今年度の確認証紙の発給枚数は9月までで約62万枚ですが、前年

同期は約75万枚でした。パチンコ新台の販売台数が前年同期を下回ったことで、中古機の流通量に影響したといえます。

しかし、厳しい情勢下にあるパチンコですが、年末までに過去に人気になった機種の復活版が市場投入されます。これら大量導入が期待される機種の登場や、大手ホールを中心とした新規出店の増加により、話題機や定番機の中古機需要が高まる点を指摘する声もあります。

平成23年度 全商協確認証紙（中古用）発給状況（4～9月）



我が国において大量消費社会が進んだのは、幕末の開国以降、諸外国からの物資が大量に国内に流れ込み、それまでの伝統的産業の在り方が破壊されたことに起因する、と考えられる。

では、日本の伝統的産業の在り方とは一体何だったのか。江戸時代の産業と暮らしの中のゴミ問題やリサイクル活動をちよつと覗いてみよう。

花のお江戸は、最盛期には100万人が暮らし、世界に君臨する大英帝国の首都ロンドンをしのぐ大都市だった。しかも、当時のロンドンが深刻なゴミと、し尿処理の問題で悩んでいたのに対し、同じ頃の江戸はそんな悩みとは無縁のクリーンな大都市であったという。

まず、し尿処理の問題。し尿は捨てるどころか下肥として農民が買いとり、最重要産業たる農業に利用した。だから、都市部で多くの住人を抱える長屋を経営する大家にとっては貴重な現金収入であり、俗に「尻餅」という言葉は、下肥を農家に売って得られた金で餅をつくことから生まれたらしい。一方、農家にとって下肥は不可欠

な有機肥料である。下肥の問題まであったほどだ。し尿のくみ取り先によってランクまで決められていたという。大名屋敷なら食べ物が良いから、排泄物も栄養価が高く買付評価も高い。ちなみに最高ランクは江戸城將軍家の便所から出たものだそう。

また、ゴミの問題

もその頃の江戸には存在しなかつたという。

そもそ

も、資源の再利用が徹底的になされて

ていた江

戸時代のゴ

ミとは何か。

それは火事場の

残土と、どぶさらい

で出た泥土くらいであつ

たという。例えば紙ゴミ。江戸時

代にも紙くずを集めて再生させる

古紙回収業者が存在した。古紙を

煮て、新しい紙へと再生させるの

だ。煮沸された古紙が冷めるまで、

紙職人たちは江戸最大の遊郭・吉原へ繰り出した。かといつて金を

宵越しの金を持たない
江戸っ子は
節約とりサイクルに
知恵を絞った

払って遊ぶわけでもなく、窓格子の芸者とたわいもない話をして時間を潰した。本気で買物するわけでない単なる時間つぶしの客のことを「冷やし」というが、語源はここからである。さらに風呂屋も紙ゴミを拾いに町を歩いたという。江戸の風呂屋は幕府の

衛生事業の役割を負

っていたことも

あり、お上の

お達しもある

って江戸

全期を通

じて、風

呂代を殆

ど値上げ

していない。

江戸市民に

とって銭湯は

不可欠の場所であつたといえ、

天気によって収入が左右

する商売でもある。徹底した節約

に励む他なし、ということ、紙

くず業者が拾った後を、さらに燃

料を求める風呂屋が焚き口にくべ

るための紙ゴミを拾って歩いたの

だ。こうして、江戸はゴミ問題とは無縁の地となつていく。

着物の再生の話を持ち出すまでもなく、西洋ではゴミとして扱われてしまうものを修繕、または資源としてリサイクルすることが、江戸時代の市民社会では、ビジネスつまり経済活動として立派に成り立っていたことが分かる。

風呂代に限らず、江戸時代は全体として物価の安定した時代であった。国内のみで再生、補給可能な植物資源をもとに需要と供給のバランスが保たれていたからだ。そして、この関係を強固にしたのが、様々な職業から成り立つリサイクルを基本とした経済活動であったのだ。

資源の枯渇、環境破壊が深刻な問題となつている現代。特に二酸化炭素排出削減が国際的な課題となり、資源が有限である以上、今までのような産業の規模を拡大し大量消費あつてこそその経済発展を続けていくのは、もはや不可能と言えないのではないか。

江戸時代の暮らしを現代の状況にあてはめることには無理があるとしても、参考にはなるのではないだろうか。

「今」こそ、組合員一人ひとりが、組合設立の意義と目的を強く認識し、組合員同士が固く結束しあい、組合員であることを誇れる、そんな組合の在り方こそ次の世代に繋げる必要があるのではないかと、私は考えています」日野理事長の挨拶にも決意のほどが現れていた。

格調溢れるセレモニー

今年、50周年記念行事を迎えるに当たって、四国遊商では「一過性の記念行事」ではなく、将来に繋がるものになりたいという願いから、早い段階で「プロジェクト」を立ち上げて計画を練っていた。その集大成がこの日、披露され、四国ならではの個性に溢れたものとなった。

厳粛なムードの中、行政をはじめ業界幹部の来賓挨拶等が予定どおりに進んだ後、初の「組合理念」「行動指針」が発表され、組合員全員で唱和し、理念の継承を誓い合った。

「諸先輩方の努力が数多くあつて、今があることを決して忘れてはなりません。これまでの歴史を振り返り、どうやって今があるか？」と

四国遊商、創立50周年記念式典及び記念パーティーを開催

四国遊技機商業協同組合（日野泰昌理事長）は、創立50周年記念式典を10月14日、四国・高松市内の旧県民ホールで開催、『私たちは、思いやりの精神を大切に、一人ひとりの未来のために集う』と組合理念を発表するなど結束を誓い合い、半世紀の節目を祝った。

四国遊商・日野泰昌理事長の力強いあいさつ



いうことをもう一度見つめ返すことで、また新たな一歩を築くことができるのです」全商協の中村昌勇会長によるタイムリーな祝辞にも後押しされて、格調あるセレモニーとなった。

すでに四国遊商では今春、香川県など四国四県8か所で、組合員による「お遍路さん接待木の植樹」を行い、社会貢献活動の実施も報告されて、社会的認知のアップも図っている。

エンターテインメント色

厳かな記念式典の後は、会場を移して「記念パーティー」の開催となった。一気にムードは一変してエンターテインメント一色の華やかな楽しさを、一流シェフによるビュッフェ料理・飲み物と共に満喫しながらのステージ・オンパレードとなった。弦楽四重奏に始まって、ジャズオーケストラ、マジックショーなどの外国人パフォーマーも加わったのサプライズ演出が展開された。組合員相互の親睦を深めながら交流を楽しむ様子に、四国遊商の未来はまさにレインボー！

行動指針

四国遊商は、遊技業発展のため、進化し続けます。
四国遊商は、お客さま満足追求のため、深化し続けます。
四国遊商は、地域社会発展のため、新化し続けます。
四国遊商は、組合員扶助向上のため、親化し続けます。

組合理念

私たちは、
思いやりの精神を大切に、
一人ひとりの未来のために集う。

組合理念を発表する夢科専務理事



祝辞を述べる中村昌勇全商協会長



四国遊商役員の皆さん



記念式典後は記念パーティーが開かれた



達つあんの辛口コラム



か分かったもんじゃないからじっくり見ていった。でもおめえのところ（広島）は投手が粒ぞろいで制球力が信頼できる。追い込まれたら苦しくなるから初球から狙っ

「広島戦の前は最下位チームが相手だった。ノーコン投手ばかりでどこへ来る

のショックに後日、本人に聞いたらこう答えた。

監督としては最初から最後まで「有言実行の人」だった。シーズン中、ヤクルトにどれだけ引き離されようが、何位に沈もうが全く意に介さなかった。「オレはさあ一度たりとも先発投手のローテーションを崩して中4日で投げさせたりしてないだろ？ 途中は関係ない。要は144試合終わった時に一番上にいりゃあいんだろ？ 違うか」とうそぶいて、それを実現

う。周囲がびっくりしたのも当然だろう。

「あの人、マスコミへの対応が悪かったから、達川君たちにも迷惑かけたわねえ」としんみり。「監督を引き受けた時に私は、3年は首にならないよう頑張つてよってハッパかけたの。それを8年も続けてくれたんだから十分過ぎるじゃない」と言うのだ。彼女が報知新聞に寄せた手記によれば「これから何度でもユニホームを来てほしい。私は地の果てまでも応援について行く」とあった。内助の功あつての名将だったのだと改めて思い知らされた。

達川 光男●たつかわ・みつお

1955年7月13日、広島県出身、55歳。広島商では73年夏に全国制覇。東洋大を経て78年、ドラフト4位で広島入団。捕手として84、86、88年にベストナイン、ゴールデングラブ賞を獲得するなど活躍し92年に現役引退。95年ダイエーコーチ、98年広島2軍監督を経て、99年から2年間広島監督。03年阪神コーチ。現スポーツ報知野球評論家、フジテレビ・プロ野球解説者として活躍中。

今シーズンのセ・リーグ優勝は、色々な意味で画期的な結果となった。何しろ優勝争いのまったただ中に、その主役チームの監督が解任を発表され、それでも最大10ゲームもの大差を逆転して、中日に球団史上初のV2という快挙をもたらしたのだから驚いた。まさに事実は小説より奇なり、とはこのことである。あらためて落合博満という男のすごさには感服させられた。

く、とりわけ変化球への強さは尋常ではなかった。長年の対戦の中で、上げて上げればインサイドに若干の苦手意識を持っているようにも思えたが、それでも並の打者とは訳が違う。わずかでも甘いコースに行けば、間違いなくホームランされるのだから攻略しようがなかった。

ある時、先乗りスコアラからデータが届いた。「ここ数試合の落合は初球に手を出さない。思い切つてド真ん中でカウントを稼ぐ手だ」とあった。納得した私が初球にド真ん中のストリートを投げさせると、落合は見送るところか左翼席へ特大のホームラン！あま

ていったのよ。たぶんスコアラからも報告行つてると思ったしな」

記憶力と調整力が生んだ天才打者。そんな男と対戦できたおかげで、こちらも配球の勉強をしつかりさせてもらったものだった。

「名選手は必ずしも名監督にあらず」と球界では言われるが、そんな定説もあつさり吹き飛ばして見せた。指導者経験もなく、いきなり中日の監督に就任してから8年間というものの、ずっとAクラスをキープ。その間、今回も含めてリーグ優勝が4回、2位からの日本

一が1回……。非の打ち所がない名将である。それがヤクルトを猛追している最中に球団から「来季は契約しない」と解任を通告されたのだから、本人はもちろん、我々周囲がびっくりしたのも当然だろう。

させてしまふのだから格好いい。

なぜか「おつかあ」こと信子夫人とも懇意にさせていただいていて、シーズン終盤のある日、球場で声をかけられた。てっきり解任への愚痴話を聞かされるのかと思つたら全く違った。

「あの人、マスコミへの対応が悪かったから、達川君たちにも迷惑かけたわねえ」としんみり。「監督を引き受けた時に私は、3年は首にならないよう頑張つてよってハッパかけたの。それを8年も続けてくれたんだから十分過ぎるじゃない」と言うのだ。彼女が報知新聞に寄せた手記によれば「これから何度でもユニホームを来てほしい。私は地の果てまでも応援について行く」とあった。内助の功あつての名将だったのだと改めて思い知らされた。

役員さん
登場!

廉価版の機械を
発売するためにも
部品、枠の共通化を!

ネクタイ姿が珍しかった
25年前の業界

「家業を継ぐ、継がないにしても金融関係の勉強をしたかった。それで、大学卒業後は証券会社で3年半働いていました。当時はバブ

関西遊商・愛知商会の和久田守彦社長は業界に入って25年が経った。これまで組合では理事として12年のキャリアがある。業界への恩返しの意味を込めて、このたびの理事長選に立候補した。和久田新理事長の就任に伴って執行部も刷新された。若手の意見も聞く組織運営を目指す。

和久田守彦

全商協副会長 関西遊商理事長

ル経済絶頂期。上司からは『何でもいから売って手数料を稼いで来い!』と毎日檄が飛んでいました。ノルマ、ノルマでそれはそれはえげつない世界でした。そんな時におやじが体調を崩して『帰ってこないか』と声がかかり、パチンコ業界へ入る決心ができました」と話すのは、今年5月の関西遊商の定時総会で、新理事長に就任したばかりの和久田守彦社長だ。

業界に参入したのは昭和62年。学生時代にはたまに家業を手伝うために現場に向いたことはあったが、初出社すると驚くことばか

りだった。それは業界人の服装だった。

「当時、メーカーでネクタイをしていたのは西陣さんぐらいでした。メーカーでもこの程度ですから商社でネクタイしている会社なんかありません。ゴルフシャツにゴルフズボンが当時の営業マンの定番スタイル。お客さんも来るのに、会社でこんなスタイルはおかしい。それで、自分から率先してネクタイをするようにしましたが、うちの会社でも全員がネクタイをするようになるまでは2年近くかかりました」

今でこそパチンコ業界はスーツが当たり前となったが、そのスタイルに先鞭をつけることになった。服装以外でも当時、不思議なパチンコ業界として印象に残っているのが、部品の値段だった。ある日、メーカーへハネモノのスタート2の部品を取りに行った。スタート1とスタート2は同じ様な部品なのに値段が違う。どういうわけかスタート2の方が高い。メーカー担当者に聞いても明確な理由はなく「2の方が出んからちゃうか？」と珍妙な回答が返ってきた。生き馬の目を抜くような証券会社

に比べると、随分、牧歌的な業界に見えた。

自社でも黒板に部品の注文を書いているのに、それをすぐに処理しないではあったらかしにしていた。いくら部品とはいえ、顧客の注文をすぐに処理しないことは、証券業界では考えられないことだった。当たり前のことだが、注文が来たらその日に送るようにした。一般社会では当たり前のことを徹底させることから着手した。

意見箱を設けて 組合員の声を聞く

関西遊商では理事として12年のキャリアがあった。後半は機械対策委員長を4年、セキュリティ対策委員長を2年務めた。そして、今年5月に開かれた定時総会で任期満了に伴う役員改選で、理事長に立候補し選挙の結果、新理事長に就任した。

「業界に入って25年以上が経ちました。この間、業界でいい思いも沢山させてもらいました。セキュリティ委員長をやっていた時、若い人たちがすごく頑張ってくれました。次世代を担う若い人たちの意見を吸い上げ、業界へ恩返しす

るためにも理事長選に出ました」

理事長に就任して約半年余り、毎日が大変なことの連続だが気負いはない。組合運営に対してはトップダウンではなく、情報を開示し皆で議論できる環境を整えていく方針だ。

「一般の組合員さんは理事会が何をやっているのか、委員会が何をやっているのかも分からない。意見という場所もない。誰にいいのかわからない。それで理事長になってから私のケータイに直接電話が入ってくる場合があります。まず、ホームページに意見箱を設けるなど方法を考えてどんな意見でも集約していきたいと思っています」

組合運営の中身が見えるクリーンな組織にしていくことが当面の目標のようだ。

求められる 時間消費型レジャー への転換

理事長の立場になって業界を俯瞰した場合、一番気がかりなことはパチンコ業界が縮小、衰退傾向にあることだ。少子高齢化のしわ

寄せはパチンコ業界だけではなく、日本のありとあらゆる業界に影響を及ぼす。生活に欠かすことができない外食産業ですら売上げが減少している。パチンコとはいえ、潤いや、癒しがささやかでも人間にとっては、大切な余暇産業の一つである。

「4円パチンコが今のお客さんのニーズに合っていないとは思っていません。1円でも4円でもパチンコの醍醐味は、大当たりすることだと思っています。その大当たりまでの過程をいかにハラハラ、ドキドキさせてお客さんに惜しかったなあ！とかあの時にあれが出ていればよかったのに！と悔しい思いをいかにしてもらうかだと思います。パチンコは、たんに時間消費型のレジャーでは無く、ハラハラ、ドキドキ感のある時間を過ごしてもらうレジャーだと思います」

自身、プライベートタイムでパチンコを打つのはハネモノ。画一的なデジタルよりも、ハラハラドキドキ感のあるアナログで廉価版の機械が出てくることを望んでいる

役員さん登場!

る。
「今のパチンコはバラエティーさに欠けます。昔、フィーバーの3

割規制がありました。現状で3割は厳しいので5割ぐらいにして、残りはハネモノ、平台、権利モノ、

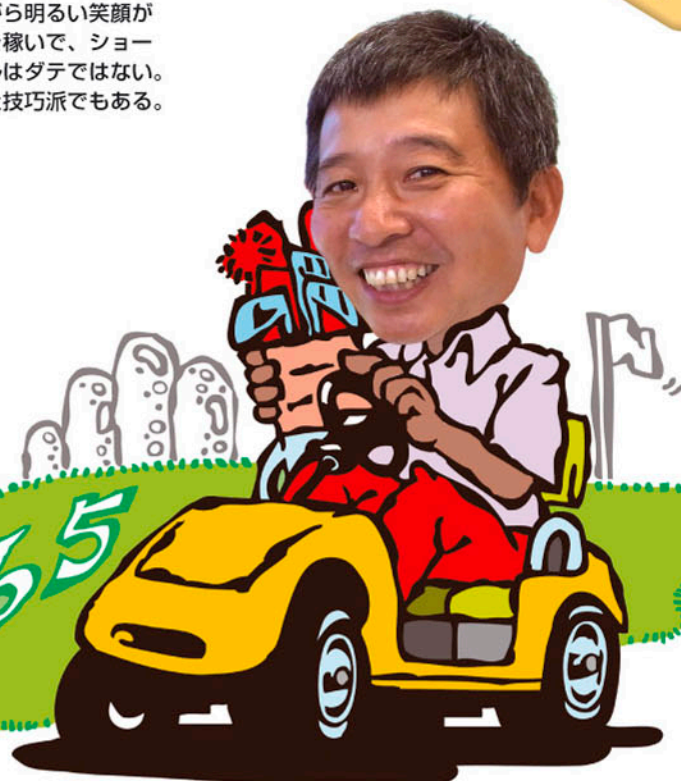
ゴルフへのこだわりは並ではない。死ぬまでに“1年間365日ゴルフ三昧”の年があればいいなと願う。米国のコースがお気に入り、知人の経営するジャック・ニクラウスJr.が設計したオハイオ州ウェスターヴィルにあるThe Medallion Clubを制覇する楽しみは格別だそうで、プレーしながら明るい笑顔が弾ける。得意のフェアウエー・ウッドで距離を稼いで、ショートゲームでスコアメイク、ハンディ・シングルはダテではない。戦略は明快そのもの、生き方すべてに共通した技巧派でもある。

関西遊商

和久田守彦理事長トリビア

血液型	A型
座右の銘	人間、生まれる時も裸、死ぬ時も裸
好きな本	海外旅行記。特に冒険ひとり旅
好きな色	黄色
好きな音楽	最近、藤岡藤巻にはまっています
好きなスポーツ選手	ローリー・マキョロイ
好きなタレント	菅野美穂
好きな歴史上の人物	レオナルド・ダ・ヴィンチ
カラオケ十八番	音痴
趣味	ゴルフ、旅行
将来の夢	1年365日ゴルフ三昧と海外移住

MORHIKO
WAKUDA



とバラエティーになれば、お客さんが戻ってくる可能性があります。アナログな機械を作ってもホールさんが買わない、ホールさんはそういう機械を入れてもお客さんが付かない、といいますが、私の行きつけの店ではハネモノも大人気です。こういうことを一部の店舗がやるのではなく、全国的にやらなければお客さんは戻ってきません」

時間消費型レジャーに立ち返るためには、機種構成のバラエティーさと、高騰する機械代の抑制が必要だとも言われている。ホールは高い機械代の早期回収を図ることに追われてしまい、お客様本位の遊技の提供が出来ないというのが現状だ。この負の連鎖を断ち切らないことには、パチンコ人口の回復も難しい。

「機械代を下げるためには、懸案の部品の共通化、枠の統一化で本腰を入れて取り組む時代だと思います。そういう機械は廉価で出し、勝負機は従来通り各社工夫を凝らしたらいのではないだろうか」

震災の影響でパチンコ市場は200万台を切るのではないかと心配もある。そうすると、当然、

中古機市場にも大きな影響を及ぼすことになる。廉価版の機械開発を含め、高コスト体質からの脱却を業界団体が一丸となって取り組まなければならない。新理事長は各団体との関係をより大切にしながら諸問題への取組みにもトライしたいと考えている。

※

趣味は年間120ラウンドは回るというゴルフ。さすがに120ラウンドはきついというが、単純計算しても土日はコースに出ていることになる。オフィシャルハンディは8。国内だけでなく、旅行を兼ねて海外でもプレイする。

ゴルフ以外では昔取った杵柄で、お遊び程度で株式投資もずっと続けている。

「食品株が多いですね。株主優待で自社商品を送ってきたりしますから」という反面、リーマンショックや東日本大震災など株価が一気に下落した時は、買い時とばかりに、有り金を全部つき込んだりもする。

勝負師の一面が顔を覗かせる。



東北遊商

東北遊商では、全商協傘下のすべての組合員1社ごとに、震災支援のお礼として、青森県産のフジりんごを1箱ずつ送ることを理事会で決定。

全商協の理事会で、そのことを高橋理事長が報告すると、他の理事から「支援なのだから、そのような配慮をしてもらわなくても…」という意見が多数だされた。しかし、高橋理事長は「それは良くわかっています。しかし、東北人の気質として、どうしても感謝の気持ちを皆様に送りたい。ご支援をいただき、そのまま、ということは、東北人としてできない。正直、復興にはまだ時間がかかると思うが、まずは感謝の意を表したい」と熱く語った。

厳しい気候の中で助け合って暮らしてきた東北人、「誠実で義理人情に厚い」という気質も昔から備わっているとされるだけに、一日も早い復興を願い、祈りたい。

**全国・組合員の皆様、
ご支援ありがとうございました**

北遊商

東日本大震災が発生したあと、札幌市内でも節電を呼び掛ける張り紙を多数みかけた。が、これから厳しい冬に向けての寒さ対策が重要な課題。

東京や関西の夏の節電を呼び掛ける「でんき予報」は9月の終わりを目途に順に公開を終了しているが、北海道では、冬の最大電力が夏を上まわるという特徴があり、北海道電力では、10月から「でんき予報」を公開している。公開されているのは、「ピーク時供給力」や「予想最大電力」など。これを受け、北海道遊商でも、各組合員に冬の節電を呼び掛ける予定だ。

遠藤理事長は「震災の影響もありますが、北海道では以前から節電への取り組みを実施していました。寒さの厳しい車社会の北海道では、エネルギー問題は、まさに生死を分ける重要なこと。これを機会に定着させていきたい」とアピールした。

北海道でも冬の「でんき予報」!

Vol.4

中国遊商



広島市では、「広島カーボンマイナス70~2050年までの脱温暖化ビジョン」を策定、2050年までに温室効果ガス排出量を1990年比で70%削減するなどの長期目標を掲げ、要望に応じて、専門の講師を派遣し省エネに関する講演会を実施している。

中国遊商では、6月に広島市内のホテルで、広島市環境局エネルギー・温暖化対策部企画課の阿部事務指導員を講師として招き、「省エネとエコライフ『省エネ生活のすすめ』」と題した講演会を開催した。講師からは、パソコンを使い地球温暖化の現状を分かりやすく説明し、身近なことから始められる省エネ生活についてのプレゼンテーションがあった。

参加した組合員は63名。そのうちの1人は「冷蔵庫の温度設定など分かりやすく説明してもらいました。小さな工夫の積み重ねが大事だと思いました」と感想を語っていた。

また、当日は、第2・第3部会の合同研修会でもあり、新しく決定した各委員会の委員長と副委員長の幹部紹介も行われた。

省エネ講演会の開催

関西遊商

関西遊商では、ホームページの中に、「環境への取り組み」を紹介する専用ページを立ち上げている。これは、リサイクル・環境対策委員会（総田騰委員長）が発信しているもので、関西遊商で行っている環境（エコ）活動を積極的に紹介し、組合員との情報交換の場とするために作成された。委員会活動、エコ活動なども掲載されている。さらにリサイクル・環境対策委員の写真付きブログページなどもあり、本格的な構成だ。

また、昨年末に登録した「チャレンジ25宣言」の活動の一つとして、組合員に次のようなエコ活動を呼び掛けている。

- ・グリーン購入を推進しよう
 - ・社員教育に力を入れよう
 - ・節水を心がけよう
 - ・ペーパーレス等ゴミの削減を心がけよう
 - ・地域の地球温暖化防止活動に参加しよう など
- 今後も最新情報を更新して、この専用ホームページを活用していく。

環境への取り組みを専用HPで紹介



中部遊商

昨年、中部地方で第1号のエコアドバイザー認定団体としてJAFに登録された中部遊商で、エコドライブを推進するためのエコアドバイザーがまた新たに誕生した。

8月に、城西福祉会自動車教習所において、「第2回エコアドバイザー講習会」が開催され、エコ走行の実技、アドバイスのポイント、燃料計の取り付けなどを1日ばかりで学び、6名が認定証を受領した。

6月に北区成願寺の城西福祉河川コースにおいて、エコトレーニングも開催し、エコドライブについて組合員に講習を行っている。

また、その講習の前には、コースが名古屋市内を流れる矢田川河川敷の近くであったので、「河川清掃活動」も約40名で展開し、エコに貢献。

今回エコアドバイザーとなった神野事務局長は「中部遊商では、環境問題に積極的に取り組んでいます。今後もこういった活動を定着していきたい。1年前に比べ、エコドライブへの関心は、数段高まっていると感じています」と成果を強調した。

エコアドバイザー認定から1年



千葉県庁にて 茨城県庁にて

東遊商

東遊商では、去る8月3日に千葉県成田市で「第12回 東遊商 親善チャリティー・ゴルフコンペ」を開催した。このコンペは、東日本大震災の被災地復興を目的に行われ、当日参加した方々から多くの浄財が集まった。

千葉県内では、土地の液状化現象などが起こり、いまだ復興の目途が立っていない地域もある。また、茨城県においても1か月以上も休業を余儀なくされているホールがある。今回の浄財は、そのような被害のあった各県と各県遊協へ贈られる。

中村会長は、9月6日に千葉県庁へ、10月3日には茨城県庁を訪れ、それぞれ義援金の目録を贈呈した。「小雨の中、東遊商のゴルフコンペにご参加いただいた皆様の暖かい気持ちが届けられたことをうれしく思います。また、ご協力いただいた各社の皆様にも感謝します。被害にあわれた方々の1日も早い復興をお祈りします」（中村会長）

チャリティーゴルフ・コンペの浄財を贈呈



地区遊商だより

九州遊商

「第4回暴力追放福岡市民大会」が7月に福岡市民会館で開催された。

大会冒頭、主催者である福岡市長や福岡県警本部長があいさつを行い、暴力団排除活動の取り組みなどを紹介した。暴力団の撲滅に全力で取り組むという大会宣言を採択し、最後に、「暴力団に対する三不運動」として出席者全員で次のスローガンをシュプレヒコール！

- 暴力団を恐れない！
- 暴力団に金を出さない！
- 暴力団を利用しない！

式典に参加した九州遊商の鹿毛専務理事は「福岡では、約1年前に福岡市暴力団排除条例が施行されました。住宅街での発砲事件が発生するなどして、地域住民は暴力団の根絶を強く願っています。安全で安心な街になるよう、今後組合としてもこのような活動に協力していきたいと思います」と語った。

暴力追放市民大会への参加

四国遊商

四国遊商では、リサイクル・環境対策委員会（天本相石委員長）が、環境標語ポスターを作成し、全組合員に配布した。

ポスターには、日本地図が描かれており、以前全商協の広報誌で、四国遊商選出分としても紹介した、つぎの3つの標語を載せた。

- ・節電は 未来のあかり 灯すため
- ・“もったいない” 小さな気持ちで 続くエコ
- ・「再利用」地球を救う 合言葉

さらに、上部に「私たちはこれからも省エネを推進します。」という宣言も書かれている。

リサイクル・環境対策委員会の天本委員長は、「今回作った標語が、なるべく多くの人に伝わるようにポスターを作成しました。全体を緑にしたのは、森林などをイメージしました」とその経緯、趣旨を説明した。

エコ標語ポスターを作りました！

節電は
未来のあかり
灯すため
“もったいない”
小さな気持ちで
続くエコ
「再利用」
地球を救う 合言葉

お知らせ

エコ標語 8組合選

第3回

全商協のリサイクル・環境対策委員会において、
エコ（環境対策）に関する標語を8組合より募集しました。
第3回は、東日本遊商と中部遊商の標語を紹介します。

中部遊商

エコ宣言!!
できることから
はじめよう

エコの道、
もったいないから
始まります

東日本遊商

はじめよう
小さなことから
エコ活動

エコ活動
はじめなければ
ただのエゴ

エコドライブ10の すすめ

第3回



⑥暖機運転は適切に

エンジンをかけたらすぐ出発しましょう

現在販売されているガソリン乗用車においては暖機不要です。寒冷地など特別な状況を除き、走りながら暖めるウォームアップ走行で充分です。暖機することにより走行時の燃費は改善しますが、5分間暖機すると160cc程度の燃料を浪費しますので、全体の燃料消費量は増加します。

⑦道路交通情報の活用

出かける前に計画・準備をして、
渋滞や道路障害等の情報をチェックしましょう

1時間のドライブで、道に迷って10分余計に走行すると14%程度の燃費悪化に相当します。地図やカーナビ等を利用して、行き先及び走行ルートをあらかじめ計画・準備をしましょう。また道路交通情報をチェックして渋滞を避ければ燃料と時間の節約になります。カーナビやカーラジオ等で道路交通情報をチェックして活用しましょう。

「エコドライブ普及連絡会」の推進する「エコドライブ10のすすめ」より、今回は⑥の暖機運転と⑦の道路交通情報の活用をご紹介します。心に余裕をもって運転しましょう。

次回は最終回、⑧以降を紹介します。

91年以來 20年ぶり20兆円割る

公益財団法人日本生産性本部余暇
創研は8月25日、都内で「レジャー
白書2011発表会」を開催した。

レジャー白書2011によると、
昨年の遊技業界の市場規模は1兆6
850億円減少の19兆3800億円。
一時は30兆円産業と注目された業界
だが、91年以來20年振りに20兆円を
割り込んだ。

参加人口は前年より50万人減少の
1670万人となった。低貸営業の
普及などにより08年、09年と2年連続
で増加していた参加人口も、今回調
査では減少に転じてしまった。

また、参加率は全体16・3%（男
性22・8%、女性10・2%）。

全日遊連加盟店舗数及び 設置台数

全日遊連が毎月実施している組合加
盟店舗調査によると9月末現在の加盟
ホール数は1万1337店舗。前月比
2店舗減、2か月連続の増加を記録し
ていたが、今回は減少に転じてしまっ
た。それでも、今年になってからは最
小の減少幅でおさまっている。

また、パチンコの設置台数は、3か
月連続で減台だったのが、4か月ぶり
に増台して288万2232台。パチ
スロ設置台数は6か月連続の増台で、
131万5080台となった。パチン
コ、パチスロが同時に増台を記録する
のも4か月ぶりだ。

今後の推移に注目したいところだ。

日遊協 第2回パチンコ・パチスロ エッセー・絵手紙コンクール 作品募集



（社）日本遊技関
連事業協会では、
昨年度に引き続
き、第2回パチ
ンコ・パチスロエッセー・絵手紙コン
クールを実施し、作品を募集している。
テーマは、エッセー、絵手紙ともに
「パチンコ・パチスロでつながる想い」
「パチンコ・パチスロをしたことがな
い方への招待状」「大好き！私のホール、
そして私の街」の3点から自由に選べる。
詳しい応募方法等は、日遊協コンク
ール事務局（☎03・3553・43
33）まで、または日遊協ホームページ
を参照。

編集後記

■これまでの「テレビ会議のイメージ」を一新
する驚きと、当方の勉強不足をただただ反省す
るばかりです。かねてから熱心に「テレビ会議
システム」導入を希望していた事業・広報委
員の斎藤専務（東遊商）も「やっと解ってもら
えましたか」と、すでに5年前から先行して導入し、
事務局打合せや各種委員会も中部や東北遊
商と体験済みの先輩単組として歓迎、喜んで
いました。今回のシステム導入は、中村会長に
よる熱い思いがやっと叶って実現したわけで、
これを如何にして効率良く利用できるかどうか
が今後の課題、そのカギを握るのはオペレー
ター役を務める各単組の事務局担当者です。
■参加する主役の委員や役員方がより効率
良く利用し成果を上げるためには、裏方として
全商協、各単組の事務局がしっかりした準備
も必要だ。システム本体機器の設定はもとより、
テレビモニター、カメラ、マイク等を前もって設
定し、通話の発信や相手側のカメラのズーム等、
会議に必要とされる操作は、すべてリモコンで
行われるので、それらを徹底してリハーサルで
繰り返し練習して、マスターしなければならない。
あらかじめマイクの音量調整はもとより、発言
者以外の雑音を消したり、自分側の音声を相手
に伝えなくする「音声ミュート（消音）」機能
の確認作業も欠かせない。
■そして何と言っても大事なのが、モニターテ
レビの大画面に登場する参加者の表情を伝える
カメラの操作方法です。リモコンによるマニ
ュアル操作（手動）と、事前にカメラのアング
ルを保存させてワンタッチで呼び出せる便利な
プリセット機能を使えば、より臨場感のある会
議の展開も可能になるという。全商協と8単組
の全国9拠点を結んでのテレビ会議システム、
これまでのアナログ回線と異なり、画面も鮮明
で使い易いのもプラスだ。モニター画面の分割
レイアウトも、このシステムを使って開かれた三
回目当たる、セキュリティ委員会でも採用し
て好評を得た「10分割画面」を採用すること
になった。

今後の緊急時への迅速な対応と情報の共
有化が図れることの拡がりを期待したいと思
います。（S）

次号は1月新年号です。
「8地区遊商の年頭所感」ほかを
掲載予定です。



<http://www.zenshokyo.jp/>